

酸素医学コアセンター 特別シンポジウム

■ 日時 - 2010年11月19日(金) 13:00~15:00

■ 場所 - 医学部1号館2階 大会議室

■ 特別講演 13:00~14:00

「光イメージングで迫る放射線治療後のがん再発メカニズム」

京都大学 生命科学系キャリアパス形成ユニット
放射線腫瘍生物学 講師 原田 浩 先生

抄録: HIF-1 (hypoxia-inducible factor-1)は、がん細胞の低酸素環境への適応(解糖系の亢進)、低酸素環境からの逃避(転移・浸潤能の亢進)、酸素供給の改善(血管新生の誘導)において重要な役割を果たす転写因子である。近年、HIF-1活性の高いがんは放射線治療後の再発率が高いという臨床研究の結果が報告され、HIF-1の新たな一面が見え始めてきた。我々は近年、『移植腫瘍内HIF-1活性のイメージング』と『低酸素がん細胞のトラッキング(運命追跡)』という独自の手法を駆使し、『放射線治療後のがん局所再発におけるHIF-1の機能』を明らかにしてきた。本セミナーではその詳細を紹介したい。

■ テクニカルセミナー 14:00~15:00

1、レーザーマイクロダイセクションテクニカルセミナー

「熟練不要！新しいLMDで楽しくサンプル回収
～ホルマリン固定組織からの外科臨床プロテオミクス～」
東北大学病院 肝胆膵外科 助教 小野川 徹 先生

2、X線CT、Xenogenテクニカルセミナー

「生きたまま測る～活きたデータを得るために～」
東北大学大学院医学系研究科
医化学分野助教 守田 匡伸 先生

参加をご希望の方は右記までご連絡下さい tmori@med.tohoku.ac.jp

皆さまのご参加お待ちしております。